

## 東京宣言

### 前文

アジア・太平洋地域における地域遺産は、この地域に住む多様な文化をもつ人々の生活様式の基盤を確かなものとし、同時に彼らのアイデンティティを育むものである。博物館は、これらの豊かな文化を継承するための基盤を確保する。急速な変化が多様な地域文化や自然環境に影響を与えているこの地域において、博物館は、世界の人々に地域遺産や豊かな文化を伝えてゆく上で重要な役割を果たしている。これらの理由により、ここに以下のように宣言する。

1. ICOM-ASPAC は、各国における博物館コミュニティと関係のある適切な組織や政府当局を通じたアジア・太平洋地域の博物館同士の国際的な協力と連絡を強めることを支援する。
2. ICOM-ASPAC は、各国の博物館協会・博物館関連学会と協働し、各国政府当局が進める博物館振興政策や、各国政府当局によって推進される文化政策・科学政策に対して協力する。
3. 各国の博物館は、その国の歴史や伝統に固有の文化的・科学的・社会的な情報資源は世界共有の資産であるという認識を向上させる。ICOM-ASPAC は、博物館情報のデジタル化を推進し、デジタルネットワークの拡大・博物館資源の充実につとめる。これらの課題達成のために現在進められているデジタルポータル<sup>1</sup>の例としては、Encyclopedia of Life (EoL)、Global Biodiversity Information Facility (GBIF: 地球規模生物多様性情報機構)、Virtual Collection of Masterpieces of Asia-Europe Museum Network (VCM)がある。
4. ICOM-ASPAC は、博物館の人材トレーニングのための必携のツールとして、また各国の博物館界の進歩のために ICOM 博物館倫理規定の普及を促進する。また、地域の人的資源開発のための計画や制度の強化に協力する。
5. ICOM-ASPAC は、この地域における博物館の中核的な価値に関する議論を活発にするため、討論の場を設けることを継続的に支援する。

我々は ICOM-ASPAC 日本会議 2009 の成果が、ICOM 総会 2010 上海の成功に貢献することを確信する。

2009年12月9日

ICOM-ASPAC 日本会議 2009 参加者一同